

委員長方針

一般社団法人摂津青年会議所
総務委員会
委員長予定者 山谷 充史

私は、2022年度に摂津青年会議所に入会致しました。社会開発委員会の一員として様々な例会事業に参加し、組織として動くことの大変さや例会運営の難しさを経験いたしました。事業を成し遂げた時の達成感も得ることが出来ました。本年度、総務委員会の委員長という大役を拝命し、入会2年目ではありますが自分なりに精一杯昨年の経験を活かし、メンバーを巻き込んで例会事業に取り組んでまいります。

総務委員会として、まず定款及び諸規定を把握、遵守したうえで総会や理事会を始めとする諸会議の設営及び運営に尽力します。組織運営の基盤として各委員会の活動をサポートし、メンバーの活動環境をよりよく整備するように努めてまいります。総務委員会の一番の担いとして、1月、8月に開催する例会総会があります。定款諸規定にも記載してありますが、総会は、すべての正会員をもって構成するとあります。予算案が承認され、これからの事業計画案が発表される場ですのでその重要性をメンバーの方々に理解して頂き、一人でも多くご参加して頂けるよう、設営及び運営を行ってまいります。

また、日頃のJC活動はご家族の方々の支えなしでは成り立ちません。毎回なにをやっているのだろうと心配しているご家族の方々も少なくないかと思えます。メンバーの活動をお伝えし、それぞれのご家族同士でも親睦を深めることで、これからのJC活動により良い影響を与えることができると考えております。6月度例会ではメンバーのご家族を招待し、親睦を深めることのできる例会を企画してまいります。12月の忘年例会では、先輩諸氏の皆様をお招きいたしますので、摂津青年会議所の現役メンバーとして入念に準備、設営を行い、卒業生を送る夕べにつなげていけるように努めます。

本年度は期首会員数が19名となり、新たな人財の確保が急務となります。地域に貢献し様々な事業を開催しているのにJCという組織の認知度はとても低いものだと感じております。フェイスブックやインスタグラムの配信、ポスター等の広告や摂津青年会議所のPRを行うことで認知度を上げることに繋がり、認知度を上げることによって摂津青年会議所の活動や運動を知ってもらえる機会が増えます。活動や運動を広げていく事で理解者が増え、そういった方々が我々の支援者となり、会員拡大にもつながります。私は人と人とのつながりを大切にしています。その人の人間性を知るには顔と顔を突き合わせて話すことが重要であると考えています。会員拡大を行う上ではそういった場面を増やし、つくっていくような行動をメンバー全員で一致団結して取り組んでまいります。

結びとなりますが、理事長が掲げる未来を見据えた土台づくりをという理念のもと例会事業構築に取り組み、摂津青年会議所に新たな風を巻き起こせる委員会をつくり上げていくためメンバー一丸となり運営してまいります。